

消防だより

火

の用心

Tokamachi Fire Department

No.81



平成26年8月20日

—救急救命処置の処置拡大へ—



本署 樋口貴大



本署 吉楽幸紀



本署 樋熊良博



本署 保坂繁之



本署 井ノ川直之



本署 藤ノ木雅也



本署 井ノ川雅史



本署 太田隆史



本署 涌井拓磨



本署 星名貴弘



西分署 高橋敬人



西分署 根津吉晴



本署 小川 睦

救急 救急 救命士 特集



本部 大平壮一



西分署 羽鳥龍也



西分署 石橋祐太



南分署 若井栄一



南分署 丸山剛



本部 樋口美香



しづみ分署 山田進一



しづみ分署 三輪純也



南分署 笹木純一



南分署 宮澤直人



新採用 柳翔輝



しづみ分署 玉田正樹



しづみ分署 野上宗幸

十日町地域消防本部職員 116 名中 26 名の救急救命士

「救急救命士ができることって？」

乳酸リンゲル液を用いた 静脈路確保のための輸液

心肺停止した傷病者に対し、腕や足の血管に注射針を使い点滴することにより、病院到着後すぐに緊急用治療薬を投与できるようにするための処置です。

器具による気道確保

心肺停止した傷病者に対し、気管内チューブなどの器具を用いて、肺への空気の通り道を確保する処置です。



従来の特定行為
+
拡大された救急救命処置

エピネフリンの投与

アドレナリンとも呼ばれ、心臓が停止した傷病者に対し「強心剤」を投与する処置です。



※強心剤：心臓の機能を活発にする薬

心肺機能停止前の 静脈路確保と輸液

血圧が低下して心肺停止する危険性があるショック状態の人、長時間にわたり機械などに挟まれていた人に対して点滴をする処置です。



血糖値測定と低血糖発作症例への ブドウ糖溶液の投与

低血糖による意識障害の可能性のある人に対して血糖値測定を行い、低血糖の場合にはブドウ糖溶液を投与する処置です。



「特定行為」とは

救急救命処置の中でも、医師の具体的な指示の下、病院とも適切に連携しながら行う処置です。

救急救命士が、重度傷病者に対して行う気道確保、心拍の回復やその他の処置のことをいいます。症状の著しい悪化の防止や生命の危険を回避するためにを行います。

従来左記の3つが特定行為と呼ばれていましたが、平成26年度より救急救命処置の範囲が拡大されました。
(左面に詳細を掲載してあります。)

特集

救急救命士とは

厚生労働大臣の免許を受けた国家資格

事故などでケガをした人や急病人に対し、救急救命処置を行う人のことです。



POINT

これまで特定行為は心肺機能停止状態の傷病者に限られていましたが、

心肺機能停止状態でない重度傷病者に対し早期に処置できることで、より救命率の向上が期待されます。

庁舎

新本部庁舎建設開始

平成26年6月25日（水）十日町地域消防本部新庁舎建設場所において、建設工事の起工式が行われ、これにより本格的な建設工事が開始されました。

建設地は、十日町市街地の北側（十日町市四日町新田地内）に位置し、信濃川と平行に走る市道高山太子堂線と接続しており、妻有大橋に近いため川西地域へもアクセスしやすい位置となっております。平成27年秋に竣工予定で、平成28年4月に開庁を予定しています。

●建築概要

建設地：十日町市 四日町新田 1041 番地他
敷地面積：11,134 m²
庁舎棟：鉄筋コンクリート造 地上3階、塔屋1階建て
車庫棟：鉄骨造 地上2階建て

※新本部庁舎イメージ写真



表彰

株式会社高橋組様が
新潟県消防団
協力事業所表彰を受賞



泉田知事より表彰を受ける様子

平成26年7月27日（日）に開催された第65回新潟県消防大会において、株式会社高橋組様（松之山湯本）が日頃からの消防団活動への協力を評価され、県知事から新潟県消防団協力事業所表彰を受賞されました。同社は従業員の31名が現役消防団員であり、消防団幹部も多数在籍しています。また、消防団活動の重要性を深く認識され、火災・水害・雪害・捜索等の災害発生時には消防団員が速やかに出動できるように配慮して頂いております。このように、自分たちの地域は自分たちで守るという考えを、企業の取り組みとしてきた結果が今回の受賞に至りました。

救助

村山消防副士長
全国救助大会へ

第31回新潟県消防救助技術大会が平成26年7月2日（水）新潟市で行われ、当消防本部の村山延大消防副士長がロープブリッジ渡過で1位となり、全国消防救助技術大会へ出場することとなりました。

村山副士長は「全国の舞台でも気負わず、自分の力が発揮出来るように、集中して今後の訓練に臨みます。」と語っています。全国大会は8月27日（水）千葉市で開催されます。



消防だより火の用心

赤色灯

救急車は限りある資源

心臓マッサージ、人工呼吸をしながら病院に向かう救急車内：泣き叫ぶ家族：一刻を争う救急現場もあれば、「今日入院の予定になっているから」と玄関できつちり入院の準備を整えて待つ現場も。生きるか死ぬかの現場もあれば、思わずため息をついてしまふような現場もあります。本日に緊急を要する方のために、救急車の適正な利用をお願いします。

（吉楽）

消防だより
火の用心



発行 十日町地域消防本部 電話 025(757)0119 FAX 025(757)8499
編集 総務課庶務広係 電話 025(757)0119 FAX 025(757)8499
ホームページ http://www.tokamachi-kouiki.jp/ メール tft119@tokamachi-kouiki.jp